

人権感覚を磨こう

～ちょっと振り返ってみませんか？～

人権課題は、十七項目

現在、人権課題として国は十七の項目を挙げています。

○女性の人権 ○子どもの人権
○高齢者の人権 ○障害を理由とした偏見・差別
○同和問題に関する偏見・差別
○アイヌの人々に対する偏見・差別 ○外国人の人権
○HIV感染者・ハンセン病等に対する偏見・差別 ○刑を終えて出所した人に対する偏見・差別 ○犯罪被害者とその家族の人権 ○ホームレスに対する偏見・差別 ○インターネットによる人権侵害
○性的指向を理由とした偏見・差別 ○性自認を理由とする偏見・差別 ○北朝鮮当局による人権侵害 ○人身取引 ○東日本大震災に起因する人権問題

毎年、多くの人権に関わる問題報道がなされていますが、特に昨年は、スポーツ界での問題や女性への差別問題、性的少数者に関する問題、年末には、外国人労働者の人権問題など、多くの問題が報道されました。

ありませんか？あなたのまわりにこんなこと

- ①インターネットと人権
SNSやネットの掲示板に他人の悪口を書き込んでいませんか？
- ②女性の人権
家事は女性がするものと思っていませんか？
- ③外国人の人権
外国人だからって偏見を持っていませんか？
- ④性的指向・性自認を理由とする偏見・差別
男性は女性を(女性は男性を)好きになるのが当然と思っていませんか？
- ⑤障がい者の人権
点字ブロックの上に自転車を止めたりしていませんか？
- ⑥同和問題
正しく理解していますか？
- ⑦子どもの人権
虐待や体罰などをそのままにしていませんか？



〈子育て世代のための人権チェック〉

- ①家族であいさつを交わしていますか？
- ②兄弟・姉妹や友達と比べて褒めたりけなしたりしていませんか？
- ③「いじめられる子にも原因があるのよ」と言っていますか？
- ④子どもの個性について、肯定的な言葉をかけていますか？
- ⑤男の子(女の子)だから○○しなさいと決めつけていませんか？

県環境生活部人権施策推進課発行「家庭ではぐくむ生き合う力」より

そこで今回は、後を絶たない人権問題を共に考えていただき、人権感覚を磨いていただけたらと考え、人権に関わるチェック項目を掲載しました。普段何気なく話している言葉や行っている行動が、よくよく考えてみると相手の人権を侵害してしまっていることがあるかもしれません。左記の質問を一度、家族や友人とで試してみ、感じたことを家族や友人と話し合ってみましょう。話したり考えたりすることで、新たな価値観が生ま

れてきます。それが、人権感覚を磨く第一歩になります。

人権感覚は磨くもの

人権感覚は、自然に身につくものではなく、努めて磨くことにより高まるものです。そして、磨かれるほど、あなたの周りがホカホカと温かい空気に包まれていきます。

「僕も、まねしたい」

先日、息子を乗せて、町内を車で走っていた時のことです。

見通しのよい交差点で、他の車が中学生三人に気づき止まりました。中学生は三人とも自転車から降りて、前後左右の確認をし、自転車を引いて道を渡り、会釈をしました。その姿に、「すごいな。僕も、真似したいな。」と隣にいた息子がポツリとつぶやきました。このようにして、人権感覚は磨かれ、周りに溢れていくのだと思いました。